

# ているるちゃんがいく！

Vol. 72

2023.10



- 特集 令和5年度 第5期「ているる塾」開講
- ているる誌上講座「ハーグ条約を知っていますか？」
- ているる塾修了生コラム 第6回 第2期修了生 平良 和さん
- ているる利用者アンケート
- 事業報告／事業案内
- 夏休み親子講座報告／ているる Caféのご案内

## 「ているる塾」とは

沖縄県は、女性がそのライフステージに応じて安心して生活し、活躍できる社会を実現するための象徴的な組織として、令和元年度から「女性力・平和推進課」を設置しました。

女性の活躍を飛躍的に推進するための施策のひとつとして沖縄県と（公財）おきなわ女性財団の主催で「ているる塾」を開講。現在までに107名の塾生が修了しています。

ているる塾では、様々なライフステージの中で自分の持てる能力を最大限発揮するため、マネジメント力・論理的思考力などを伸ばし、職場、家庭、地域のあらゆる場で活躍できる人材を育成し、さらに、講座終了

後も支え合う仲間となっていくネットワークづくりも目指しています。

沖縄県内に在住する概ね20歳から40歳までの自身のキャリアアップに意欲がある女性を対象に塾生を募集。今年度は32名の塾生が選考されました。

修了までの全9回のプログラムでは、コーディネーターの波上こずみ氏（Cosmic Consulting 代表・組織コンサルタント）を中心にアドバイザーによるサポートも受けながら、沖縄県内外の各分野で活躍している講師による講座やグループワークなどを行っていきます。



## 開講式 令和5年9月5日（火）

今年度はコロナ禍が落ち着いたことから、昨年度より募集人数を増やしたところ募集人数を上回る応募がありました。開講式には公正な選考委員会を経て選考された第5期塾生が、意気揚々とているるに集まりました。

（公財）おきなわ女性財団の大城貴代子理事長は、開会のあいさつで塾生に激励の言葉を送りました。

「みなさん、『ているる塾』への入塾おめでとうございます。昨年は、沖縄が本土復帰して50年でした。当財団も今年で設立30年になります。

昭和50年（1975年）にメキシコシティで国連が開催した国際婦人年世界会議で、各国の法律、経済、政治、社会、文化制度における女性の地位向上のための「世界行動計画」が制定されました。

それまでは女性は保護される弱い立場でしたが、本当の意味での平等を勝ち取りました。

その当時、わたし達は、一生懸命旗振りをしましたが、女性が輝く時代が、私の目の黒いうちに実現できるとは思っていませんでした。30年の契機に、『ているる塾』で勉強ができることは大変すばらしいことですし、皆さんは出会った縁を大切にがんばって頂きたいと思います。」

と話しました。

また、塾長の玉城デニー沖縄県知事は講話の中で、塾生に熱いメッセージを送りました。

「ハイサイ、グスーヨー チューウガナピラ。

ているる塾の塾長を務めております。沖縄県知事の玉城デニーです。

私が知事になってから、あらゆる場面で女性の皆さんが活躍できる沖縄県の将来を描いてきました。特に

男女共同参画社会づくりは日本全体のみならず国際社会でも取り組みが進められているということで、沖縄でもその取り組みの一つとしてスタートしたのが『ているる塾』です。

約半年間ですけれども、これからているる塾で皆さんに学んでいただくのは、主にダイバーシティマインド、ロジカル系スキルなどの技術ではありますが、人と人として繋がっていただき、今やってらっしゃることを語り合い、お互いが抱える悩みごと等も相談できるコミュニケーションスキルも養っていただければと思います。

沖縄県には法律によって設置しなければならない審議会が多くありますが、女性の参画率を40%以上に引き上げることを目指して、各分野の女性の専門家を参画させる取り組みを県庁内でも進めています。

『ているる塾』でも社会全体の課題について忌憚のない意見交換をしながら力をつけていただきたいと思います。皆さんの半年間のご奮闘を期待しておりますので、頑張ってください。」

と激励しました。

第5期塾生は、令和6年2月17日まで、計9回の講座・ワークショップで学んでいきます。



大城貴代子理事長



玉城デニー沖縄県知事

## 男女共同参画講座

開講式後に、琉球大学国際地域創造学部教授、同大学の副理事・副学長を務めている喜納育江氏から「男女共同参画」の講話がありました。

## 講師：喜納育江氏

喜納氏は、

「男女共同参画という言葉自体が、だいぶ古いと思われる方もいらっしゃるかも知れませんが、女性を取り巻く環境がなかなか改善されないのが男女共同参画という言葉にこだわって講義をします。」と前置きを



喜納 育江氏

した上で、日本あるいは沖縄が抱えるジェンダー問題の最近のポイントとして3つに集約されると思うと述べました。

- 1 何十年も変わらない日本の後進性
- 2 アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）
- 3 ダイバーシティ&インクルージョン

まず、日本の後進性についてですが、毎年発表されているジェンダーギャップ指数 2023 年のランキングでは、146 カ国中 125 位と、日本は先進国中でも最低レベルと言われており、アメリカ、韓国、中国よりも下になっています。アジア人女性は欧米諸国に比べて順位が低いのが印象的です。なぜこんなにジェンダーギャップ指数が低いかというと、一番の要因は4つの指標のなかで政治についてのスコアが著しく低いことにあります。

ここで紹介したい指標があります。

人間開発指数ヒューマン デベロップメント インデックス (Human Development Index, 略して HDI)。国連開発計画というところが、長寿で健康的な生活、知識および人間らしい生活という三つの側面を測定して順位を決めています。日本は 19 位と上位です。

一方、先ほどお話したジェンダーギャップ指数が今年 125 位です。

この二つの指数が意味するのは、日本は世界的に見ても生活水準も高く、男女問わず教育を受けられる状況にあるにもかかわらず、女性が社会進出していないことが如実に表れています。日本では、男性が大多数を占める会社役員一覧の写真を見ても、私たちはさほど違和感を覚えません。

世界の状況としてはフィンランドでは 2019 年に当時 34 歳のサンナ・マリン首相が就任し、女性の大臣が占める割合は 19 人中 12 人です。

「ガラスの天井」という言葉を聞いたことがありますか？

女性の地位は既に年々高くなっていった、あたかもトップに行けるかのように見えながら、実は見えない壁＝ガラスの天井に阻まれて絶対にトップにはなれないという定説がありますが、彼女たちはそれを破ったと言われています。

二つ目のポイントは「アンコンシャス・バイアス」です。無意識に行われている決めつけや思い込み。長い年月をかけて刷り込まれた認識で必ずしも悪意を伴いません。「無意識の偏見」は、20 世紀の最大の発見と言われています。

例えば「女性は生まれつき数字の能力に欠ける・細やかな心遣いができるなどのステレオタイプ」や「属性に基づき代表的な特徴を持つと短絡的に考えてしまう、身内意識とよそ者意識」また、「話の最中に口を挟んだり、発言を無きものにされるなどの無意識の侮辱」です。

こちらは人事や採用にも影響するので採用に携わる側は改めて勉強し、無意識の偏見に気づき正す必要があります。

最後のポイントは、DE&I（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）です。Dはダイバーシティ（多様性）、Eはエクイティ（公平）、Iはインクルージョン（包容、受容）の頭文字です。DE&Iが確保されて、はじめてイノベーションが生まれます。

いつも同じメンバーで考えていると出てくるアイデアも非常に限られてきます。

経験も背景も違う人が入ってくると新しいことが生まれるので、私たちはダイバーシティ&インクルージョンを生み維持しなければなりません。

また公平や平等という考え方ですが、2種類あり英語では EQUALITY（平等）と EQUITY（公平）があります。

「エクイティ（EQUITY）」は、一人ひとりが結果を出せるよう、個々に合わせて支援内容を調整し、公平な土台をつくり上げることを指します。

最後に、女性は「縁の下の力持ち」になることには、すごくやる気があるけれど「リーダー」という仕事については尻込みしがちです。

皆さん、そろそろリーダーをやってみませんか？

私自身、大学でいろいろな役割をしていますが、やってみると状況が揃ってきますし、手伝ってくれる同僚や仲間も生まれてきます。皆さんも自分のいる環境で自分自身のリーダーシップを試してみてください。

全ての人があらゆる不自由から自由になる社会を実現するために、塾生の皆さんが社会で大いに参画して、社会を改善するような事をやったださることを祈念します。



# 「ハーグ条約」を知っていますか？

～お子さんを連れて国境を越えた移動をする際は注意が必要です～

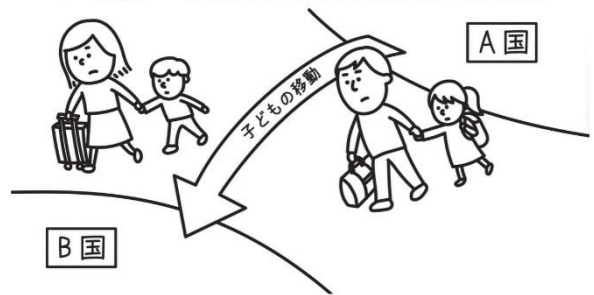
<正式名称> 国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約

(Convention on the Civil Aspects of International Child Abduction)

<国内法> 国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約の実施に関する法律（ハーグ条約実施法）

国境を越えての移動が当たり前の時代になってきました。例えば国際結婚をしている人や、日本人同士でも海外に住む人が増えています。「ハーグ条約」は一方の親による国境を越えた子どもの連れ去りに関する国際協力の仕組み等について定めた条約です。連れ去るつもりがなかった場合でも、知らないうちにハーグ条約の当事者になってしまう場合があります。お子さんを連れて国境を越えた移動をする際には注意しましょう。

ハーグ条約＝一方の親による子どもの連れ去りに関する条約



## 【ハーグ条約が適用される条件】

- 子の年齢が16歳未満
- 条約締結国間の移動
- もう一方の親の同意がない



## 【ハーグ条約の原則】

- 子どもをもともと住んでいた国に返還します。
- ※ 監護権についての判断は行いません

## 【架空事例】アメリカから日本に子を連れ去った場合

- ケンさん（米国籍 父） ●花子さん（日本国籍 母）
- 太郎くん（日米二重国籍 子 6歳）

- ・花子さんとケンさんは沖縄で出会い、結婚
- ・2人で米国に引越し。2017年、米国で太郎くんが生まれる。
- ・その後、花子さんとケンさんは不仲に。言葉の問題もあり、誰にも相談できない状態が続く。
- ・2023年4月、花子さんはケンさんに黙って、太郎くんを連れて沖縄に戻る。



ハーグ条約の対象となります。

まず「ハーグ条約」について知ってください。

問合せ先：外務省領事局ハーグ条約室

電話番号：03-3580-3311（代表）

受付時間：平日 9:00～17:00（12:30～13:30を除く）

E-mail： Hagueconventionjapan@mofa.go.jp

ホームページ



動画等紹介ページ



おきなわ女性財団では関連講座を開催しました。

「国際結婚にまつわる家族問題～ハーグ条約やDVを中心に～」

実施日：令和5年7月27日（木）

第1部：「知っておきたいハーグ条約」

谷垣 博保 氏（外務省領事局ハーグ条約室長）

第2部：「国際結婚にまつわる法律問題」

武田 昌則 氏（琉球大学法科大学院 教授/

弁護士法人ひかり法律事務所 弁護士）



谷垣 博保 氏



武田 昌則 氏



# ているる塾修了生コラム

## 第6回

たいら なぐみ  
平良 和  
言語聴覚士

2児1匹(高3息子、中3娘、0歳わんこ)のママ。死ぬまでワクワクをモットーに常に自分追求中。大学を卒業し、病院→施設→養成校教員→地域の事業所 現在 COMMUNE~しゃべり場~フリーランスとして 児童デイサービス、小学校、保育園、病院、訪問リハビリなどの事業所と提携して、「まちがみんなの居場所」を目指して活動中。「こんな児童デイあったらいいな」が2023年7月にているる塾で出会った女性と「児童デイサービスたんたん」をオープン。最終目標は、地球が居場所を目指してチャレンジは続く。

初めまして。ているる塾第2期生卒業の平良 和(たいら なぐみ)と申します。

私は、言語聴覚士という専門職として22年、病院、施設、言語聴覚士の養成校の教員、訪問リハビリという様々な領域で、働いてきました。私にとって天職だと思える大好きな仕事でしたが、コロナ禍をきっかけに自分の働き方に迷っていました。

そんな時にているる塾第2期生募集の情報が仕事で移動中のラジオから流れてきました。「これはもう行くしかない!」と決めて、その日の夜に応募した事が始まりでした。

会場に到着すると、いわゆる「キャリアウーマン」という風貌の女性ばかり。その瞬間「あ、間違えた」と。医療、福祉、教育という分野で働いてきた私には、ビジネスという環境とは掛け離れている場所にいたため、不安からのスタートでしたが、回が進行するとともに不思議とワクワクの気持ちで毎回の受講を重ねる事ができました。

様々なワークを通し、自分の気持ちにいろいろな変化が生まれ、フリーランスになることを決意する事ができました。その決定打は、「キャリアウーマン」という概念は私自身が作り出している思い込みだったことに気づいたことです。「キャリアはビジネス」が、「キャリア=人生の経験値」ということにたどり着きそれをグループでシェアしていく中で、「女性キャリア実現党」というグループ名に決まり、私の仕事の可能性が広がっていくイメージが膨らみワクワクが止まらない時間を過ごす事ができました。

ているる塾を卒業した後、グループが一緒だった大塚乃子さんとは、家が近いというご縁もあり、週6で会う関係になりました。専業主婦で、自分を変えたくて参加した彼女にとっては、わたしの言語聴覚士という仕事は興味深かったようで、彼女の家族、一番は彼女自身に響いていたと思います。言語聴覚士の仕事をしていると、病気を発症し、何か診断がついた後、状態が悪化した状況でしか会えない人だらけの中、ているる塾をきっかけに、そうではない人と繋がり、私の知識が地域の中でリアルに生かせるという、とても嬉しい経験でした。そこから、「お母さんが変われば家族が変わる」「自分の凸(得意)で働き、自分の凹(苦手)はできる人に補ってもらう」が2人のテーマになりその中で夢を語り合う日々。

「お母さんと一緒に通える児童デイサービス。家族まるごと応援隊」。専業主婦だった大塚乃子が経営者。私のこれまでのキャリア、まさに、お互いの持っている得意、人脈を足し算して2023年7月に2人の夢が詰まった「児童デイサービス たんたん」が開所しました。

ているる塾、そして仲間との出会い、働き方を変えると生き方が変わってきました。面白いぐらいやりたい事が決まっていく、叶っていく。次は、自分らしく居られる「みんなの学校」を作りたい!そして、まちが居場所、地球が居場所!!

とことん自分らしさを追求して、死ぬまでワクワクするぞ!これからも私たちの夢、挑戦は続きます。



# ていいるる利用者アンケート

沖縄県男女共同参画センター「ていいるる」では施設運営の参考にさせていただくためにアンケートを実施しています。皆さまのご意見を参考に、これからもより良い施設運営を行ってまいります。

アンケートのご協力ありがとうございます。

アンケート回答総数 77件（令和5年8月に1階受付及び2階図書情報室で実施）

年代						(単位：人)
10代	20代	30代	40代	50代	60代～	
3	11	10	16	17	20	
4%	14%	13%	21%	22%	26%	

ていいるるをどのように知りましたか						
知人・友人	チラシ・パンフ	ラジオ	新聞	ホームページ	SNS	その他
44	7	0	4	19	0	3
57%	9%	0%	5%	25%	0%	4%

何回目のご利用ですか			
はじめて	2～4回	5回～10回	10回目以上
16	21	12	27
21%	28%	16%	35%

来館目的 ※複数回答あり			
催事主催	催事参加	図書館利用	その他
27	39	10	1
35%	51%	13%	1%



図書情報室は、マンガや  
いろんな本が充実しているので、  
よく利用しています。  
とても静かで読書も勉強も  
はかどります。(アンケート自由意見より)



利用施設 ※複数回答あり						
ホール	2階図書室	研修室・会議室	和室・茶室・生活・創作室	フィットネスルーム	ふれあいサロン	その他
17	10	28	14	16	0	1
9%	13%	37%	19%	21%	0%	1%

施設内の環境について（安全性、空調、点字、案内等）				
とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い
10	64	3	0	0
13%	83%	4%	0%	0%

職員の対応について				
とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い
37	38	2	0	0
48%	49%	3%	0%	0%

施設利用の手続きについて				
とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い
13	53	11	0	0
17%	69%	14%	0%	0%

利用料金について				
とても高い	高い	普通	安い	とても安い
2	0	5	54	12
3%	0%	7%	74%	16%

今後の利用について		
より多く利用	同じくらい利用	少なく利用
44	33	0
57%	43%	0%

## 施設ご利用のご案内

受付場所 ていいるる窓口

受付時間 9:00～20:30

(日曜日は16:30まで)

申込方法

予約の方法、利用料金、利用方法等、  
詳細につきましては、事務局までお  
問い合わせ下さい。

TEL：098-866-9090

詳細はホームページ  
からご覧頂けます。



## 工事協力へのお礼

昨年9月から一部老朽化のために実施しておりました沖縄県三重城合同庁舎（ていいるる及び沖縄県自治研修所が入居）の外壁等修繕工事は、令和5年5月31日をもちまして完了いたしました。

工事期間中、ていいるるご利用の皆様にはご迷惑やご不便をお掛け致しましたこと、深くお詫び申し上げます。長期間にわたりご協力いただき誠にありがとうございます。

安心安全が一層確保された庁舎において、利用者へのサービス向上に努めますので、これからも、ていいるるをご利用下さるようお願い申し上げます。



# 事業報告&事業案内

(公財) おきなわ女性財団



## 【法律講座】「離婚」に関する法律の基礎講座 ～離婚を考えた時に知っておきたいこと～

実施日：9月2日(土) 14:00～16:00  
講師：橋本 典子 氏 (法テラス沖縄法律事務所 弁護士)  
場所：ているる3階 研修室1・2  
内容：離婚を考えたときに知っておきたい法律の基礎知識を学びました。会場から多くの質問も受け付け、橋本先生のてきばきとした回答に受講者は熱心に聞き入っていました。



橋本 典子 氏

## 【ているる塾公開講座】日本がジェンダー後進国から抜け出すには ～小さな変化を沖縄から日本社会へ～

募集中

実施予定日：11月18日(土) 13:00～14:30  
講師：浜田敬子 氏  
場所：ているる1階ホール  
内容：「ジェンダー平等をめぐる世界の動きとは？」  
「日本のジェンダー問題への向き合い方は？」など、  
どうすれば日本はジェンダー後進国から抜け出すことができるかを考える講演会です。  
備考：同日12:30～13:00におきなわ女性財団30周年事業として感謝状贈呈式を執り行います。



## 【第2回相談員研修・DV防止啓発講座】 暴力～沖縄女性をめぐる構造的な問題として～

募集中

実施予定日：11月25日(土) 10:00～12:00  
講師：宮城 晴美 氏 (沖縄女性史家)  
場所：ているる3階 研修室1・2  
内容：沖縄女性史に精通する専門家から「沖縄における女性に対する暴力」を構造的な問題として解説してもらうことで、支援者の資質を高めるとともに、顕在的・潜在的当事者となる可能性の高い女性をエンパワーする講座です。



## 【ているる塾出前講座・ジェンダーを考える教室】 オンライン講座 アンコンシャス・バイアス～ジェンダー平等社会のために～

募集中

配信予定日：11月10日(金) 9:00～12月22日(金) 17:00  
講師：喜納 育江 氏 (琉球大学国際地域創造学部教授副理事・副学長)  
新垣 誠 氏 (キリスト教学院大学人文学部長)  
形式：YouTube (録画動画配信)  
内容：「ているる塾出前講座」は女性人材育成を、「ジェンダーを考える教室」は、性別に関わらず誰もが生きやすい社会づくりを目指す講座です。  
二つの講座をコラボすることで異なる視点から「アンコンシャス・バイアス」を考察し、ジェンダー平等社会づくりのため、わたしたちができることを考えます。





### 【夏休み親子講座①】「チョークアート」

実施日：8月18日（金）10：00～12：00  
 講師：石川 睦子 氏  
 場所：ているる3階 創作室  
 内容：それぞれに好きな絵柄を選び、講師より画材の説明や色の混ぜ方、グラデーションの色の塗り方、はみ出しを消す方法等を教わり、丁寧に仕上げていました。  
 「初めての体験で親も子どもも刺激を受けました。違った絵にも挑戦したい。」と参加者の声がありました。



### 【夏休み親子講座②】「漆喰シーサー作り」

実施日：8月19日（土）10：00～12：00  
 講師：かかず かずこ 氏  
 場所：ているる1階 ふれあいサロン  
 内容：講師から漆喰のこと、材料が県産品であることを教えてもらいながら、親子で漆喰をこね、成形し、シーサーの形を作りました。  
 好きな色を真剣に塗り、満足する作品に仕上げていました。  
 「はじめて漆喰に触れ、親子とも良い経験になった。」と保護者から好評でした。



### ～ているる相談室～

公益財団法人おきなわ女性財団では相談窓口を開設しています。  
 相談料は無料（通話料は相談者負担）、秘密（プライバシー）を固く守ります。

	女性相談 TEL：098-868-4010	国際女性相談 TEL：098-880-3402	にじいろ相談 TEL：098-880-8434	男性相談 TEL：098-868-4011
日時	火曜～土曜 10：00～17：00		土曜のみ 10：00～17：00	日曜と月曜 10：00～16：00
相談方法	電話／面接（面接は予約が必要です。） 女性からの相談を女性の相談員がお受けします。  特別相談（予約が必要です。） ◆専門家による面接相談 ◆法律相談（月2回） ◆こころの健康相談（月1回）		電話／面接 （面接は予約が必要です。）	電話  男性からの相談を男性の相談員がお受けします。 ※相談は、電話相談のみとなります。
相談内容	女性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、心や体の悩みなどの相談をお受けします。	外国人との結婚・離婚など様々な問題に関する相談をお受けします。	セクシャリティに関わる悩みや困りごとをご本人だけでなく、家族や周囲の方からのご相談もお受けします。	男性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、心や体の悩みなどの相談を電話でお受けします。
休み	毎週日曜と月曜、年末年始（12/29～1/3）		年末年始（12/29～1/3）	祝日にあたる月曜、年末年始（12/29～1/3）



### ているるCaféのご案内



ているるCaféは、自習スペースとして、レンタルCaféとして貸し切りでもご利用いただけます。

- 営業時間 （火）～（土）  
9：00～20：30  
（日）9：00～16：30
- 利用料 1人500円（終日利用可能）
- お問い合わせ先 098-866-9090



（公財）おきなわ女性財団の賛助会員も募集中です！！

